



世代を超えて楽しく集おう

幹事長 S32 高森 重見

東京九学会会員の皆様、お元気の事とお慶び申し上げます。この会報がお手元に届く頃には総会の準備で、私も忙しくしている時期だと思います。

今回は、私と東京九学会との関わりから書かせていただきます。

東京九学会の原形は、戦前に創立者遠山参良院長先生の上京を機にその度毎に集いが発足されたところからです。正式には1976年7月、初代緒方信一会長（元文部次官）、中園達哉幹事長（東京九学会相談役）で東京九学会として発足しており、他にも様々な業界で大活躍されている先輩方が多数いらっしゃったと伺っております。

私が参加いたしましたのは、今から約17年前、東京九学会が再構築された頃です。保良光彦会長、吉永哲治幹事長を中心に、多い時には約200人の先輩方が参加され、その一員に加えていただいたのが、とても頼もしく、誇らしく思えました。また幹事会は、安くお酒が飲めるということもあり、多くの方が集まっておられました。お酒や料理の提供から、会議室に至るまで、全てお世話いただいたのが当時の連川悠一副会長です。その面倒見のよさには敬服いたしました。

それから年月が流れ、若手会員の減少が顕著となり「若手の会を！」との気運が高まりました。そして今から8年前に、当時の緒方昭義会長、内空閑裕明幹事長の多大なご支援により、東京九学会とは別に若手を中心とする会が、島本誠代表（現東京九学会会長）のもとKG会の名称でスタートしました。

その後KG会も、年々いろいろなゲスト（バスケットの岡山恭崇先輩、デザイナーの田山淳朗先輩、柔道の山下泰裕先輩、陸上の末續慎吾選手、野球の吉本亮選手、女子ゴルフの有村智恵さん、大相撲の千代白鳳関、俳優の高良健吾さんなど他多数）卒業生を招き、着実に根付いたものとなりました。KG会のみんなも東京九学会の様々なイベントに参

加し、また学生も毎年数十人単位で参加してくれるようになりました。

KG会が発足して数年後、2008年もおし迫った頃、内空閑先輩から「腰痛で、入院するから迷惑かけるね。」と電話がありました。急いでお見舞いに駆けつけると、状況は一変しており、先輩からは「もう長くないみたいだよ、桜観られないかな」という信じ難い言葉。腰痛ではなく、癌だったのです。それから約一ヶ月後の暖かい冬の日に内空閑先輩は天に召されました。病床で頂きましたお手紙には「東京九学会とKG会が一つになった時、先輩達の笑顔を遠目に、君と酒を酌み交わしたかったね！」私が知る限り最高の九学おもしろい先輩の「後は、頼んだ！」の一文でした。



2008年 千代白鳳関 5月場所祝勝会にて

亡き先輩の遺志を反映するように、その後両会是一本化し、今日に至っております。

このように、これまで関わってこられた多くの先輩方が、それぞれに思い入れをもって、育み培ってこられたのが東京九学会です。私も「九学という共通の故郷をもつ卒業生達が、世代を超えて楽しく集う場であり続けたい」そんな願いを込めながら携わっていきたくと考えています。

さて、今年の総会は東京大学発祥の地として名高い学士会館を会場として、来る10月25日に開催する事が決まりました。関東在住のOB.OGの方々、どうぞ多数のご参加をいただきますよう、皆様のおいでを心より待ちいたしております。

九学生の活躍に熱くなった夏

九州学院 院長 阿部 英樹 (S28)



この4月から前院長内村公春先生の後を受け継いで、九州学院の責任を担っています。

私と九州学院のつながりは、中学3年の夏、当時の池永院長と偶然に出会って声をかけていただいたことから始まりました。不思議な導きの中で、母校九州学院で働きの場を与えられて、

30年以上奉職できていることを心から感謝しています。

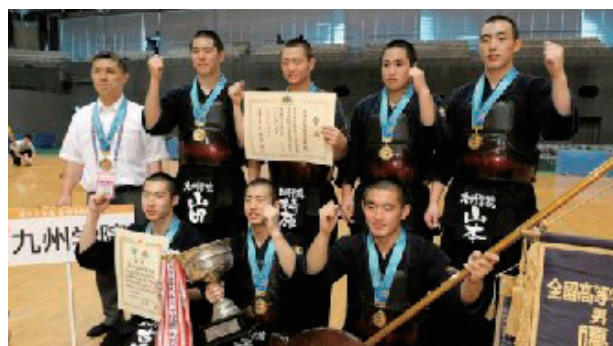
この夏、今年も九学の生徒たちの活躍が元気を与えてくれました。勉学面では、夏休み中も多くの生徒が課外と自習のために登校しました。課外終了後も、特進コースの生徒を中心に、学校に残って夕方遅くまで勉強していました。先生方の熱意に生徒たちもしっかり応えています。例えば、高3進研6月模試(5教科型)の結果を見ると、特進コースは、熊本県では熊高に次いで2位という好成績を残しています。特進コースが全体をリードする中で、勉学面で勢いがついていると言えます。

合唱部は夏休みの県大会で、金賞を受賞しました。田島部長は、コンクールに向けて10人足らずのメンバーのパート編成などに苦労されながら、女声合唱の見事なハーモニーで会場を魅了しました。高校の部で1位となり、審査員たちから高い芸術性が評価されました。

スポーツ面での活躍については、皆様すでにご存じの通りです。中でも特に剣道部は、高校剣道界にあって歴史的な偉業を達成し、全国から最も注目されています。団体戦では、春の選抜大会優勝に続き、玉竜旗剣道大会(全国から564チームが参加)、高校総体で優勝して三冠を獲得しています。個人戦でも山田凌平君が大活躍(その3大会で優勝2回、準優勝1回)でした。

この夏、私は剣道部団体優勝時の感動を試合会場で2回も味わうことができました。またインターハイにおいて、各競技で頑張る生徒と指導されている部長監督の先生たちを、関東3県の各会場で直接応援する機会に恵まれました。

女子空手道チームは、団体組手3位となりました。快挙と言えます。競技会場横の練習場には、九州学院と敬天愛人の大きな文字がひときわ目立つ陣



高校総体 剣道男子団体戦連覇3冠達成を応援



高校総体 女子空手道チーム団体組手3位を応援

幕が設営されており、その中に入ると日吉監督の強い思いが漂っているのが感じられました。

陸上競技部と女子陸上競技部は、地区大会上位でかつ標準タイム突破者のみが出場を認められる競技にあって、エントリー選手数で日本一の高校となっていました。猛暑のグラウンドでの試合であり、禿監督と大川内監督は多数の選手たちの健康管理には人一倍気を遣っていました。

その他、石橋監督率いる柔道部、松岡監督率いるボクシング部、田中監督率いるバスケットボール部を応援することができました。

中学生たちの活躍も、九州学院に勢いを与えています。九州大会では、剣道部と水泳部が優勝、柔道部が準優勝しています。

キリスト教教育を推進するために、夏休みに教会礼拝参加を呼びかけました。九学ブラウン・メモリアル・チャペルでは、8月5日(平和礼拝)と28日に平日礼拝を実施し、それぞれ60人、300人の中高校生が参加しました。4月に就任した小副川チャプレンが中心になって企画を進めており、九学のキリスト教教育に新しい風が吹いています。

同窓の皆様には、ご支援を引き続きよろしくお願いたします。



学院の施設 その1

1号館 校舎

九州学院同窓会 参与
小崎義昭 (S4)



株式会社 クリーンテック

代表取締役会長

反 後 堯 雄

(S-6 東京久憎会)

本 社 福島県福島市飯坂町中の字赤落27番
〒960-0261 TEL(024)541-2811 FAX(024)541-2510
東京事務所 東京都新宿区西新宿2丁目7番1号 小田急第一生命ビル12階
〒063-0712 TEL(03)6304-5010 FAX(03)5323-5750
URL : <http://www.clean.ne.jp>

卒業 60 周年記念祝賀行事に参加してきました

S6・J4 緒方 昭義*

毎春、学院行事として卒業式に併催される卒業五十周年式典は卒業生にとってビッグ・イベントになる訳で「60周年」というのは公式行事ではないとの事。

今回は、齢 80 才に近い我々の強い要望を受けて頂いて、卒業式翌日の 4 月 19 日（土）に会号を開いて頂きました。

講堂における礼拝をはじめとして学院内の諸施設・創立 100 周年を記念して建設された体育館。歴史資料情報センター、そしてリニューアルされた全天候グラウンド等々学院の隅々まで案内して頂きました。案内役は長岡立一郎理事長、就任間もない第 9 代院長 阿部英樹先生等々でした。

学院一周後、午後からは「交通センターホテル」に於いて傘寿祝賀会としての会合を開きました。新任の村上事務長、齊藤堅固先生、椎名信一先生、小崎義昭参与の方々もお招きして昔話に花を咲かせたものです。当日の顔ぶれは、いつも顔を合わせている東京グループ 12 名&奥様 3 名。地元熊本から 11 名&奥様お一人、その他 福岡、長崎、大阪から 7 名と合計 34 名の大集団で、熊本弁丸出しの楽しい半日でした。

因みに 103 年の九学の歴代の院長先生は、初代 遠山先生、2 代目 稲富先生（2 代目まで我々は存じ上げていません）、3 代目 川瀬先生、4 代目 池永先生、5 代目 齊藤先生、6 代目 西先生、7 代目 土山先生、8 代目 内村先生そして 9 代目が今年就任された阿部先生（S22）という歴史です。

＜最近の全国紙の報道によると埼玉在住の石井さんという方（1903 年生まれの 111 才）が日本最



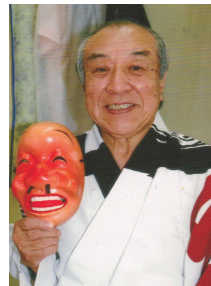
高年令ということで、これには九学も頭を下げます＞

余談はさておき、この報告を取り上げて頂く「東九通信」も 2004 年 4 月に発刊以来、今年で 14 号となり、隆々とした歩みを見て、九学健児の同窓意識の高まりを強く感じます。東京九学会の益々のご隆盛を祈念致し、ご報告まで。

*東京久憎会会長

「感動の共有」を目指して

S4 森田 茂



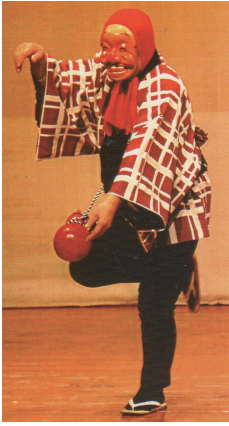
今年 3 月 1 日日出度く傘寿（80 歳）を健康の内に迎えました。若い時にはこの年まで自分が生きているなどと考えたこともなく、何となくこの年まで生きてきたという感じです。最近色々な方から「森田さん、貴方の体験談・経験談を本にして出したら」とよく言われます。

実は会社に在籍していた頃、印刷業に関連した仕事をしていた関係で、当時の印刷業界の社長さん達が持っておられた趣味の発表会が、向島の一流料亭で毎年行われていて、私が 60 歳の頃（当時会社の常務取締役）ご案内を受け参加させて頂いた際、「險の母」を「新内節」で語られた社長さんがおられ、その語り方（「新内」では唄うことを語りと言う）が凄く粹に感じられたことから、その場でその社長さんに師匠を紹介して頂き、弟子として入門したのです。その後 3 年 3 ヶ月と言う異例の速さで「富士松魯寿賀太夫」と言う芸名を頂きました。その年の芸術祭に師匠が「古典の新内を訪ねて」と言うことで、現代に殆ど語られていない「新内」を日本橋の三越劇場で発表されることになり、第一部がこの発表会で、第二部を私の襲名披露にしなさいとの師匠のご指示により、私の襲名披露は三越劇場だったのです。師匠はこの年の「芸術祭音楽の部」で入賞され翌年 1 月赤坂プリンスホテルで最大な「受賞を祝う会」が開催されました。私の襲名披露が三越劇場で行われたことが、当時「新内」業界で話題となりました。その後「新内協会」主催の発表会に、毎年出演させて頂くことになりました。



KUNIKUKAI HAPPY 60th ANNIVERSARY

東京久憎会 緒方昭義 谷山準二 尾上 賢



その後、会社の方も社長・会長を歴任し、66歳で退任、その後伝統芸能である「江戸芸かっぽれ」を習い始め、教えて頂いている先生と色んなところに踊りに行っている内に、68歳の時、上野の不忍池のところに在ります野外音楽堂で、色んなお面を着けて踊っている方達に出会い、その滑稽な仕草に魅了され、その時早速成田家流の家元をお願い

して弟子入りさせて頂きました。このお面踊りは「ばか面踊り」と言っており、千葉県船橋市に昔から伝わる伝統芸能で、成田家流はそれを現代風にアレンジした踊りです。入門後家元に同行し、色んなお祭り等で踊っている内に「成田家笑仙」と言う芸名を頂き、たまたま地元の居酒屋の30周年の記念のパーティで踊ったところ、習いたいと言う方達が出てきた関係で、家元に相談した結果、講師として教えて良いと言うことになり、2006年1月から、地元川口の公民館で川口教室を開設しました。2007年4月にある方の紹介で、両国に在る寄席の「お江戸両国亭」で「ばか面踊り」の「酔いどれ」を踊っていた時に、お笑い業界で有名な先生から「あなたの芸は浅草で踊るべきだ」と、翌週浅草のお笑いの殿堂として有名な「東洋館」の支配人さんにご紹介頂き、6月から「東洋館」に出演することになりました。

その間川口の生徒さんもどんどん増え色んな芸を持っている人達が習いに来始めたことから、2010年1月から演芸集団「成田家笑仙」一座を立ち上げ、演目も「大黒舞」「寿獅子舞」「笑福おどり(お面踊り)」「大江戸玉すだれ」「安来節(どじょうすくい)」「江戸芸かっぽれ」「銭太鼓」「日本舞踊」「新舞踊」など20数種類に及び、お蔭で各地の寄席やお祝いのパーティ・料亭の宴席・各地のお祭り・特別養護老人ホームをはじめ各福祉施設などへのボランティア活動にも力を入れ、特に施設を訪問すると、涙を流して喜んでくれ方達が多く、帰りに「次いつ来てくれるの」と必ず声を掛けてくれます。踊りに行ったみんなも、お客さんに喜んで貰える感動を体験することができ、笑いを通して

「感動の共有」を目指して活動しています。

一方2011年から、さいたま市の公民館の高齢者学級で講師として「趣味を活かして生きがいつくり」と言うテーマで1時間お話しをし、その後踊って見せる講習をやったり、地元川口の地域毎の高校・中学校・小学校・幼稚園・保育園のPTAの委員の方の会で「言葉の力」と言う公演を30分行い、後の親睦会で踊ったりしていることなどから、一般社団法人埼玉県人会から「日本伝統芸能の普及」の「県民インストラクター」の「認定証」を頂きました。このお蔭で色んなところから講演の話が来るようになりました。

また特に最近は、高齢者の孤独死・引き籠もりが増えていることから、地方行政でも大型団地や地域の自治会などに積極的に支援活動を展開し始めており、今改築が進んでいる大型団地で有名な「赤羽台団地」(人口約2000名内高齢者約400名)で、去る6月7日(土)東京都北区の要望で発会式が行われた「赤羽台団地見守り支え合い会」に一座13名で踊りに行き大変喜んで頂きました。特にこれからお年寄りが「幸令者」で健康で長生きされるよう、少しでも力になればと、広い意味での「社会貢献」を目指して一座の皆さんも燃えています。

九州学院同窓会神奈川支部総会の報告

神奈川支部同窓会会長 S14 荒木 傑

平成10年4月12日第6代院長故西一郎先生のご指導を頂き発足致しました神奈川支部16回総会は、今年5月24日(土)12時30分より、横浜中華街翠香園にて30人の同窓生が集い、美味しい中華料理を賞味しながら家族的に和やかな雰囲気の中で始まりました。学院から、ご多忙のところ、村上事務長、小手川副会長も参加を頂き、又、東京同窓会の高森幹事長も渡米の日に態々参加を頂き、恐縮しました。S14回卒村上智信氏の司会により始まり、参加者全員による近況報告では、同窓会として大変有意義な時間を共有し、今後の神奈川支部のますますの飛躍を感じさせて頂き、学院の校訓「敬天愛人」が脈々と継承されておりました。

以上、神奈川支部総会のご報告を申し上げます。



旭光 有限会社

代表取締役 **緒方 榮喜 (S8回卒)**

〒273-0041 千葉県船橋市旭町3-14-1
TEL(047)439-5669 FAX(047)439-5686
E-mail:kyokuko-86f-ogt@hkg.odn.ne.jp

寿司・季節料理
くまもと料理

あづま

TEL 03-3213-2728(休日:土・日・祝)

理 容

ニュー東京

TEL 03-3215-2538(休日:日・祝)

九学出身の方は2,400円(通常3,000円)のサービス料金でお待ち致しております。

〒100-0005 千代田区丸の内3-4-1(新国際ビルB1) **吉村 勉 (S9)**

オカヤマくん “227cm の世界”

月刊バスケットボール(日本文化出版)好評連載中!



ご存知、東京九学会現副会長 S25 岡山恭崇さんです。「日本一の高さ」-山なら富士山(3776m)、電波塔なら東京スカイツリー(634m)、そして、スポーツ選手なら「オカヤマくん」、すなわちバスケットボール元全日本選手・岡山恭崇(227cm)となる」

と、この連載の劈頭に紹介されています。

編集部

長者の子の節句知らず

S25 中路 孝博*



私は、九州学院中学校・高等学校を卒業して、陸上自衛隊で勤務しました。

平成 21 年 7 月定年退職しました。

今年とうとう還暦を迎える年齢となりました。したがって、残る人生いかに過ごすかについて考えさせる機会が多くなった

今日この頃です。

九州学院時代は、他校にはない宗教の時間がありました。当時(特に高校3年時)は、宗教時間は、受験に関係がないので負担でした。しかし、社会に出てみると、その見方・考え方は役立つものだと自分のなかでは思っています。具体的には、欧米の物の見方・考え方について学ぶことが出来たと言う事です。聖書などの書き方は、物の善悪をはっきりさせていることです。正しいこと・悪いことははっきりしています。YESとNOの区分がはっきりしています。いわゆる 2 進法です。日本の理系の本は、明治時代の外国の翻訳であり、YES と NO の区分がはっきりしている欧米の著者の考えがすんなり理解できたような気がします。特に、コンピュータ自体も 2 進法で作成されているので、プログラム作成試験も、迷うことなくすんなり出来たと思います。2 進法の考えをもっていない人が、苦勞しているのを多く見ました。社会にでて、早くから 2 進法(宗教の時間で)の考え方を学んであるいは接触していて良かったと思いました。

事後、宗教の授業で学んだ言葉から今思えばという一例を書きます。

宗教の時間で「人はパンのみで生きるのではない、神の言葉で生きるのである。」ということ学びました。申し訳ありませんが、その時、先生がどういう説明をしたか忘れてしまいました。今も深い意味はわかりませせん。しかしながら、教わった時は、深く考えていませんでしたがなぜか心の中で残っていました。60 歳を迎えるにあたり、そういえば、長い間、いろいろな場所でいろいろな人からいろいろの言葉を聞いて、感動したことがありました。衣食住だけで、生きてきたわけではなかったということです。

自衛隊時代は、全国規模で異動していましたので、

川崎会計事務所

税理士 川崎 義治

東京九学会監査役(S11)

〒171-0021 東京都豊島区西池袋5丁目24番12号 西池袋ローヤルコーポ902
TEL (03)3984-2858 FAX (03)3984-2868 URL <http://www.kkj.biz>

多摩八十八ヶ所第一番札所

真言宗豊山派

安養寺

住職 東京九学会会長 島本 誠永(S30)

〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-1-21



いろいろな場所で印象に残る言葉にいくつか出会いました。その中で、山梨と静岡の境の駐屯地で勤務している時、「長者の子の節句知らず」という言葉を初めて知りました。

当時、現在の若者をいっしょに勤務するには、どうしたら良いかという検討会の時でした。それには、まず現在の若者気質とは何かを知る必要があるということで、山梨の人がその回答で答えた言葉でした。

現在の若い人を一言でいうと、「長者の子の節句知らず」ということでした。

その言葉の意味は、長者の子は、普段からいいものを着て、旨いものを食べたりいろいろしてもらっているの、節句の時、あらためていいものを着て、旨いものを食べて祝ってもらっても、感動・喜びが薄い。それに比べて、そうでない子供は、普段何もされていないので、節句の時、たまにいいものを着て、旨いものを食べてもらい祝ってもらったら感動・喜びが大きいと言う意味です。

確かに、現在は飽食の時代だと言われるなど豊かな時代となりましたが、その反面、ささいな事・日々の節目の出来ごとで感動したり満足することが、少なくなってきたと思います。

私も還暦という節目が来ますが、今後の人生は感動したり満足度に満ちた充実した生き方をしたいと考えています。国から示されたライフプログラムはあります。が、それに乗ってやりとげた充実感もありますが、目標を決め、最初から自分で苦労してやりとげた充実感とまったく違うものだと思います。

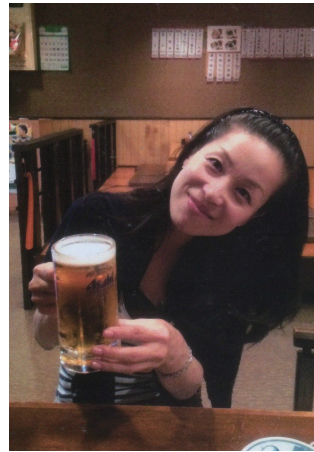
ちなみに、現在、若いころやり残したボイラー・電検 3 種等の受験に挑戦しています。教育機関を利用しないで独学で、最小限の費用でチャレンジしたいと思います。

*新任 東九通信編集担当

外食放浪記

S46 村上 知恵

この執筆にあたり自分の趣味は何か？と自分に問いかけました。趣味とは好んで積極的に繰り返す行為と言うらしい 料理、お花、韓流ドラマ等々ひと通りかじってきたけど今ではすっかりお蔵入り状態になっています。もしや自覚はなかったが、私はまさかの無趣味人間なのか？と焦りを感じた



今日も仕事後に至福の一杯

瞬間いつもの定位置、右手元に置かれたビールジョッキが目に入りました。私は今、泊まり先の沖縄で大好きなオリオンビールを片手に島らっきょうをつまみながら、約 20 年振りに手にとったこの原稿用紙と格闘中です。今ひらめいた私の趣味、好んで習慣的に繰り返している唯一のこと、それは外食です。私の外食にお酒は必須なの

で外飲外食という表現が正しいのかも知れません。日本各地を飛び回り、泊まり歩くことが常の仕事柄、月の半分は住まいの東京を離れ自宅を空けることになり、勤務を無事に終え東京に帰れば満開だったはずの桜は散り、知らぬ間に東京湾や墨田川の花火もとっくに終わっていて、せっかくの東京生活も満喫していない気がするし、この数年、いつから初詣に行っていないかわからない罰あたりな生活、そんな日常に切なくなった今日も仕事後に至福の一杯り侘びしくなったりもするけれど、それに勝る魅力が全国各地を泊まり歩くこの生活には溢れています。ですが最近では質が大切で一回一回の食事が尊いと感じるようになりました。歳でしょうか？なのに疲れていても眠くても美味しいものを捜し求めて放漫する毎日です。金沢やと富山で日本海の海の幸と共に頂く日本酒や仙台の牛タンとビール、又 故郷である熊本での馬刺し、辛子れんこんと焼酎も最高で明日への活力となっています。又、少々オタク気質なのか？日々の全国各地のお店リサーチは怠らず、むしろ日常生活のなかの楽しみの一つとなっています。

大人数での食事でも楽しくて好きだけど、地元の大將やお店のお客さんとの会話を楽しめる気ままな一人ごはんの時間も結構気に入っています。若い頃は一人で入れるのはカフェやラーメン屋あたりだった気がするけど、今ではいつしか一人居酒屋、一人焼肉、一人寿司屋もすっかり慣れたもので、オバサンを通り越し若干オジサンの域に入っていますし、女子力は低下中…？なのかも知れません。因みに一カ月の飲食費用は怖いので計算しないことにしています。



建設業許可 神奈川県知事許可(般21)第50909号

株式会社 **タイセイビルド**

取締役会長 **齊藤 征一郎 (S12)**

土木・建築・リフォーム・店舗・設計施工・建物総合保守管理
冷暖房・冷蔵庫・厨房設備・設計施工・メンテナンス

〒233-0016 横浜市港南区下谷5丁目71番12号
電話 **045-823-8644**(代) FAX 045-826-2197
E-Mail: taiseibirudo@if-n.ne.jp
携帯電話 090-3223-0330

翻訳

竹熊 誠 (S15)

TAKEKUMA, Makoto

〒860-0845 熊本市上通町4-10 とらやビル 402号

TEL・FAX (096) 354-9575

E-mail: mtakekuma@ss.em-net.ne.jp

振り返れば男女共学の一期生として入学した九学を卒業して20年目の月日が流れ、日本全国を飛び回るCAの仕事もこの秋で17年目を迎えます。長く勤めていると初心を忘れ折れそうになる瞬間に多々遭遇します。何故かそんなタイミングで偶然に熊本便の乗務がついたりします。熊本空港に向けて着陸態勢に入ると左手に金峰山のテレビ塔が見えてきて、すると間もなく懐かしい九学の校舎と校庭にさしかかり、私はその光景見ていつも胸がキュンとします。今でもよく憶えている、高3の月曜5時限目の授業は体育でした。何だか面倒だし、何より大根足にブルマー着用は本当に辛いひと時でした。そんな月曜午後のブルーなひと時に私はちょっとした楽しみを見つけました。ある時、見上げた空に今にも手が届きそうなジャンボ機が迫力あるエンジンの轟音とともに通過していきます。青空に映える白と青の機体、尾翼に誇らし気に輝くロゴに心がときめき、いつしか魅了されこの仕事に就く大きなきっかけとなったのだと思います。又初心を忘れ行き詰った時、九学の上空で原点に戻れるに違いありません。

皆様 初めまして、こんにちは

S60 北口洋平

この度ご紹介賜りました北口洋平と申します。私は、S60 回生（平成20年卒）で九中時代から6年間お世話になりました。現在は関東のどこかに住み、東京都内で働いております。

先日、東京 KG 会の新卒歓迎会に参加させていただきました。私も九学を卒業して早くも7年も経ちました。全国にわたり活躍している先輩、後輩方々の偉大さ驚き、自分自身の未熟さを改めて感じました。また、九学でお世話になった先生方や時代話などで非常に楽しく盛り上がらせていただきました。今回、坂本様、宮田様などの先輩方にはこのような会を催しを立てていただき厚く御礼申し上げます。

私事ですが九州学院時代に印象に残っている言葉がありますので簡単に紹介したいと思います。

今は退職されて、いらっしゃらない某〇〇先生のお言葉ですが「人生では3つの坂がある。それは、上り坂。下り坂。まさか。」最初は全くもって分からなく、人を馬鹿にしておいでなのかと思いました。何故なら、「まさか!!」と言う経験があまりなく、

自由気ままに人生やってきたからです。私がこの言葉の意味をわかり始めたのは、会社に就職して

「3. 11」を過ぎた頃でした。ところで、

「3. 11」の意味はお分かりでしょうか。

皆様にはご存知の通り「東日本大震災」です。あの日は交通はパンクし帰宅難民など様々な経験されたと思います。あの時は自分の人生がひっくり返されたように「まさか!!」と言う経験しました。職業柄中身は言えないですがあの先生のお言葉がない限り、私は人生自由気ままに過ごしていたと感じます。

最後になりますが皆様も九州学院時代で印象が残っている先生がおありとは思いますが、また、良き同級生などの思い出や学んだ経験などを活かしていき皆様のご活躍を心よりお祈りします。

最後になりますが、東九通信を企画発行されている尾上様に感謝申し上げ挨拶とさせていただきます。

マット君の英語教室 The challenges of English

S54 マシュー（マット）バーゼンス*

English is a strange language with lots of different rules and exceptions to those rules. As a native speaker of English, I don't have to think about if the words coming out of my mouth are grammatically correct or not – it just comes out naturally. Just like when a native Japanese speaker speaks Japanese, you don't have to worry about being “grammatically correct” all the time. However, I have noticed it is much more of a challenge to explain the rules of English, compared to the rules of Japanese. Personally, I am glad I am not an English teacher and never want to be one either. I would find myself saying, “English is English, that's just the way it is!”, because it is such a challenge to explain.

The theme for this article is to talk about how English sounds to me, coming from Japanese native speakers. I am currently a recruiter for bilingual talent and sometimes my job is to test the levels of English for some of the candidates I meet. Even though most of the candidates I meet already have a TOEIC score, I have learnt that this is only a number and does not truly reflect the level of English of an individual. For example, I have met people with scores of 950 TOEIC but cannot have a conversation, but I have also met

東京九学会

幹事長

高森 重視

(S32)



〒104-0061 東京都中央区銀座8-5-22 805銀座ビル 3F
TEL 03-5568-3011

本郷 久 (S32)

people with scores of 600 TOEIC who are able to communicate very well. Therefore, my company has a policy to have native English speakers test each person we meet, so we are not judging individuals' English purely based on their TOEIC score. There are a lot of different people and therefore a lot of different English levels.

The most important thing to remember is, native speakers of English KNOW that English is not your first language. They will not judge you or laugh at you should you make a mistake. In fact, we don't care! We appreciate the fact that you are trying to communicate and get a message across. Without your effort, there would be no conversation to begin with. At the end of the day, it all comes down to confidence and how comfortable you speak knowing the words coming out of your mouth are not going to be 100% correct.

With that said, if there was one point which I would recommend to Japanese who speak English, it would be to think about the pronunciation of each letter of each word. I believe the major challenge for native English speakers who listen to Japanese natives speak would be trying to understand "Katakana English". Since each sound of Japanese is broken into "a-i-u-e-o", it might be a difficult concept for you to "break" or "cut off" sounds when speaking English. However there is a reason why words such as "school" are not spelt "schoolu". Some people like to add random "r" letters into words that don't even have an "r" letter in them. So once again, go back to basics and think about the individual letters of each word and you might find that your speaking ability may improve.

Personally, I do not have a problem with "Japanese English" and do not "feel" anything in particular when I hear it. Rather than making impressions about people, I am listening to their message. Remember, languages are not easy and require continuous effort. Good luck with your English studies!

*バイリンガル人材 リクルーター

編集部注 表題は「英語のむつかしさ」
表題にある challenge: 日本で云うチャレンジは「挑戦」ですが、ここでは、「むつかしさ」という意味だそうです。そう言えば、手元の英和で第一義は「やりがいのある課題」で「挑戦」は第二義です。マツト君の講義は以下のことを言っていると思います。① 英語はおかしな言語で、いろんなルールがあり、そのルールに例外も多い。② 人は母国語

を話すとき一々文法など気にしていない。英語は英語である。③ TOEIC の点数は必ずしも英語の実力を表さない。950 点取っても全然会話が出来ない人もいるし、600 点でも立派に話を通じる人もいる。英語にもいろいろな評価基準がある。英語のネイティブ・スピーカーは、貴方が英語を母国語としないことを知っていて、間違った英語を笑いはしないし人物の評価をする事もない。大事なのは意思を通じさせようとする努力だ。話してみなくては始まらない。

④ 勧めたいことは、各単語の一つ一つの文字の発音を気にかけること。日本人のカタカナ英語は分かりのくい。各英語の単語には、そのように綴られる訳があるのだ。スペリングの中に r が一字もないのに矢鱈に r の発音を入れる人がいるがこれはおかしい。

発音の基礎に立ち帰り、各単語の個々の文字に着目すれば貴方の話す能力は向上する。⑤ 私は個人的には、日本語英語を別に気にしない。英語の上手下手で人の評価はしない。メッセージが伝わればいいのだ。言葉は難しい、上達には不断の努力が必要です。

平成 26 年度 東京 KG 会 新卒生歓迎会



7月5日、心配された天気も持ちこたえ新卒歓迎会が無事開催されました。今年の観光は2階建てオープンバスで東京駅をスタートし、東京タワーの真下を通過、首都高速

にのり風を感じながら東京ベイエリアを見下ろしながらレインボーブリッジをわたり、オリンピック開催予定の豊洲から、築地市場そして銀座と約1時間のコース。普段目にするのとは、また違った東京を満喫しました。懇親会は丸ビルのもつ焼き屋で親交を深めました。参加者バス観光18名、懇親会34名、皆様のご協力のもと楽しい歓迎会となりました。 KG会 事務局 宮田哲治

お礼:皆様 ご執筆ご協力ありがとうございました。
S6 尾上、S25 中路、S32 本郷、S54 Berzins、S56 徳満

九學東京若手の会
KG会

URL : <http://www.kg-kai.jp/>

九學東京若手の会 KG会

代表 永谷 隆史(S39) 事務局 坂本(S51)

〒168-0062 東京都杉並区方南1-8-17 株式会社オビカ内
TEL : 090-3492-5372 E-mail : s51sakamoto@kg-kai.jp

メール用QRコード
連絡はこちらから



op!ca
Creating Fun Together

株式会社 オビカ

岡本 明(S34)

〒168-0062 東京都杉並区方南1-8-17 Tel 03-5300-0722 Fax 03-5300-0723 <http://www.oka-p.co.jp>